皆様からのご意見や情報をお待ちしております。

keizaisibu@aurora.ocn.ne.jp

# 経済

経済支部ニュース第2号
2012年7月5日（木）発行
発行責任者　関根範明
編集責任者　大嶋英行
自治労連都庁職経済支部
TEL　03-5320-7411
FAX　03-3343-2700
〒163-8001　新宿区西新宿2-8-1

## 都労連「労働時間短縮・休暇制度の改善要求書」、「福祉関連要求書」、「職場環境改善要求書」を当局に提出

都労連は、６月27日（水）15時より専門委員会交渉を、引き続いて小委員会交渉を行い、「労働時間短縮・休暇制度の改善要求」「福祉関連要求」「職場環境改善要求」の３本の要求書を提出しました。

提出にあたって、とりわけ、①休暇制度の改善と超勤縮減の効果的な対策、②ワークライフバランスや育児・介護に関わる要求の踏み込んだ検討、③パワー・ハラスメントの具体的な防止対策、を求めました。

都側は、職場環境整備の必要性は認めつつも、職員の勤務条件について都民の理解と納得が得られることが前提になるとし、①休暇制度は総体として充実している、②今年度「次世代育成支援プラン（後期計画）」をより実効性のあるものになるよう見直しに取り組む、③良好な職場環境づくりに向け管理監督者研修の取り組みを進める、との認識を示しました。

退職手当に関しては、「これまでにない厳しい内容での見直しは、間近に迫っている」として、「国の動向を注視しつつ、支給水準や職責反映のあり方等を含めた構造見直し」の検討を進めるとしました。

最後に、現場調査を踏まえ、今秋の給与改定交渉期に向け、諸課題の議論を深めていく考えを示しました。

都労連は、退職手当について、国に追随した拙速な見直しと削減は認められない立場を明確にしました。

その上で、制度と給付水準の大幅かつ急激な変更は職員の生活に与える影響が重大であるとして、十分な労使協議を求めました。現場調査については、「職場実態を踏まえて労使で十分検証して協議の促進を図らなければならない」、「この調査を通じて真摯に現場の実態に向き合い制度全般の改善に向けて議論を深め、要求の解決に結びつけることが協議の前提である」として、要求に応えることを重ねて求めました。

## 2012年　労働時間短縮・休暇制度の改善要求書

１　労働時間の短縮について　４事項
２　休暇制度の新設・改善について　７事項

## 2012年 都労連福祉関連要求書

１．次世代育成支援対策にかかわる事項
〔職員次世代育成支援プランについて〕　３事項
〔妊娠・出産にかかわる事項〕　８事項
〔育児にかかわる事項〕　１０事項
２．家族の看護等にかかわる事項
(1) 介護休暇制度　６事項
(2) 短期介護休暇制度　２事項
３．勤務の軽減・通院にかかわる事項　７事項
４．人事制度等にかかわる事項　３事項
５．生理休暇にかかわる事項　１事項

## 2012年職場環境改善要求書

### セクシュアル・ハラスメント及びパワー・ハラスメント防止対策にかかわる要求

１．セクシュアル・ハラスメント防止対策にかかわる事項　７事項
２．パワー・ハラスメント防止対策にかかわる事項　５事項
３．研修にかかわる事項　３事項
４．相談、救済体制にかかわる事項　８事項

### 男女平等に関する要求

１．人事制度、休暇制度、研修、施設・設備にかかわる事項　４事項
２．旧姓使用にかかわる事項　２事項

### メンタルヘルスケアに関する要求

１．病気休暇を180日に戻すこと。少なくとも、精神疾患に起因する場合は期間を延長すること。
２．メンタル不全による休職者を減らす実効ある対策を講じること。
３．発病や再発に至る原因、職場復帰訓練や再発防止策の成果を明らかにし、円滑な復職を図ること。
４．「東京都職員心の健康づくり計画」などメンタルヘルスケアについては、労使協議事項として都労連及び各単組などと十分な協議を行うこと。
５．メンタルヘルスに必要な予算の拡充をすること。
６．常勤の精神保健スタッフ（特に精神保健相談員）の増員をはかること。
７．職場復帰訓練は、本人の希望がある場合、所属職場以外でも行えるようにすること。
８．職場復帰訓練中の通勤手当を補償すること。また、職場復帰訓練中の通勤災害・公務災害について認定できるよう法改正も含めた対策を講じること。
９．メンタルヘルスケアの必要な職員を業績評価の対象から除外すること。
10．労働安全衛生法に基づく安全衛生委員会の設置による健康管理体制を整備・充実するよう、区市町村教育委員会への情報提供と援助を強めること。

# さようなら原発 10万人集会

7/16 MON (海の日)

**会　場**　代々木公園　イベント広場・ケヤキ並木・サッカー場

**時　間**
メインステージ　12:30～　オープニングコンサート
13:00～　メイン集会（14:00まで）
13:30～　パレード出発　3コースの予定

サブステージ　11:00～15:30頃まで
●11:00ごろから脱原発・エネルギー関係のブースが出ます。

**呼びかけ人**
さようなら原発1000万人市民の会
内橋克人／大江健三郎／落合恵子／鎌田慧／坂本龍一
澤地久枝／瀬戸内寂聴／辻井喬／鶴見俊輔

**注意事項！**

1 当日はJR「原宿駅」が大変混雑が予想されます。できるだけ「渋谷駅」または地下鉄千代田線「代々木公園」または「明治神宮前」、小田急線「代々木八幡」をご利用ください。
混雑緩和のため、早めに会場にお出かけください。

2 当日は暑さ対策として、帽子、タオル、飲料水のご用意を各自でお願いします。なおゴミも各自お持ち帰りいただいています。

# 高齢期雇用に関する都庁職としての基本的な考え方について

新たな高齢期雇用制度は、２０１３年度から年金支給開始年齢が３年に１歳ずつ引き上げられることから、60歳以降無年金になることを踏まえて、年金が支給されるまでの「雇用と年金の接続」を図るものです。

都庁職は、各支部からの意見を踏まえ、高齢期雇用に関する基本的な考え方を整理し、都庁職として次のように取り組みを進めていくこととしています。

1．原則として定年制延長の実施について、13年度からの年金支給開始年齢の段階的引き上げに遅れることなく、早急に求めていく。また、61歳以降の賃金水準は60歳定年時の賃金を基本とします。

2．定年制延長が公的年金の支給開始年齢の引き上げに間に合わない場合には、当面の対応として、都庁版「継続雇用制度」の確立を目指していきます。

都庁版「継続雇用制度」は、「新たな再任用制度（フルタイム・短時間）」を構築するイメージであり、厚生労働省労働政策審議会建議で「無年金・無収入となる者が生じないよう、継続雇用制度の対象となる高年齢者に係る基準を廃止することが適当」とすることに基づき、希望者全員の雇用を基本とした制度です。

そして、「フルタイムの継続雇用」から「短時間の継続雇用」への移行についても本人希望を尊重し、可能とします。

3．都庁版「継続雇用制度」の賃金水準に関しては、無年金期間の生活の安定と安心を確保するため、１級職をはじめ、その賃金水準を大幅に引き上げ、「フルタイム」の「継続雇用」の賃金については、60歳時の８割以上の賃金水準を確保し、退職時の職として任用します。

4．都における「加齢に伴い就労が厳しくなる職務に従事する職員」等、困難職種に対して、「多様な働き方」を整備し、知識・経験・能力を活かせる職場配置を基本とし、ベテラン職員としての具体的な任務を職場ごとに明確にするとともに、加齢に伴う困難職種については、65歳まで働き続けられる職場の確保を前提に、夜勤・当直はしない等、業務分担の軽減による対応を図ることも含め、業務内容のあり方について、労使協議により、創意工夫した内容を検討していきます。

5．年金支給開始年度後については、都庁版「継続雇用制度」の「フルタイム」から「短時間」、また「短時間」から「フルタイム」への切り替えを可能とします。

6．円滑な執行体制を確保するため、「短時間」の「継続雇用」職員については、原則、定数外とし、定数カウントを行う場合にあっても、現行定数との関係で、適切な定数カウントを実施させ、定数削減と連動させないよう求めていきます。

7．都庁版「継続雇用制度」に基づく職場環境・労働条件の整備を確立していくことを求めていきます。

8．年齢のバランス・人材育成の観点から計画的な新規職員の採用を求めていきます。

# 映画鑑賞券

新たに映画の前売券が入りましたのでご案内します。

経済職員互助会の映画鑑賞券助成により、一般券は９００円、子供券は４００円となります。
（★は子供券あり）

・図書館戦争
・ラム・ダイアリー
・ＬＯＶＥまさお君が行く！★
・ＬＯＶＥまさお君が行く！
　親子ペア券
・ダークナイト ライジング
・臨場　劇場版
・スノーホワイト
・メリダとおそろしの森★
・それいけアンパンマン
・おおかみこどもの雨と雪★
・アメイジングスパイダーマン
・ＢＲＡＶＥ ＨＥＡＲＴ海猿
・アベンジャーズ
・マダガスカル３★
・ローマ法王の休日
・ＲＯＡＤ ＴＯ ＮＩＮＪＡ
　―ＮＡＲＵＴＯ
　ＴＨＥ ＭＯＶＩＥ―★
・崖っぷちの男
・トータル・リコール
・プロメテウス
・だれもがクジラを愛してる。
・Ａｎｏｔｈｅｒ アナザー